

本協議会の概要

柱① (住民避難)	新宮市の「Web版ハザードマップ」多言語化、郵便ポストでの二次元コード掲載、北山村の出前講座等、住民避難に資する取組を概ねの機関で実施。今後は本年度拡大した流域TLの活用、検証を行う。
柱② (情報伝達体制)	紀宝町におけるデジタル新技術の活用、田辺市における河川監視カメラの設置、防災行政無線やメール・SNS等、概ね全機関で住民や他機関への情報伝達体制を強化。今後は情報の一元化や、メディア連携による情報提供の検討・実践等の必要性を確認の上、更なる情報伝達体制の強化を図る。
柱③ (水防活動)	概ね全機関が参加した「熊野川総合水防演習」の実施等により、水防活動に関する取組を概ね全機関で実施。今後は消防団等の避難場所の確保等を行い、より効果的な水防活動の実践を目指す。
柱④ (ハード整備)	熊野市の事前放流に関する情報提供、電源開発(株)による事前放流、和歌山県、三重県、紀南河川国道事務所の堤防整備・河道掘削等、ハード対策を概ねの機関が実施。今後は利水ダム事前放流の効率的な運用や、流域での雨水貯留機能の向上を検討する。
柱⑤ (復旧・復興)	全機関が排水施設整備や維持管理を継続し、災害復旧のための連携強化に関する取組を実施。今後は排水訓練の実施・検証・改善を図ると共に、企業BCPの作成支援を進める。

【凡例】

- 基礎** これまでに実施してきた取組の継続・更新
- 応用** 具体的取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
- 発展** 具体的取組内容は未定であり、検討・調整を経て、進めていく取組

目標達成に向けた5本柱の取組

※達成度の算定方法：
 =(取組を実施した・実施中の機関数) / (取組対象の機関数)

柱① 水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践 【達成度：90% ※R4から10%アップ】

進捗状況(柱ごとの事例)

新宮市
Web版HM多言語化、二次元コード

北山村
出前講座

目標

- 洪水時の連携やタイムライン等の実効性向上
- 防災意識の認識レベルから行動・実践レベルへの移行
- 地域特性を踏まえた適切な避難行動の実践
- 感染症等を踏まえた避難対応

⇒安全かつ主体的な住民避難の実現

ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進

主な取組項目(抜粋)

洪水時の連携の検証と改善(100%) / タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有(100%) / 出前講座や水災害教育等の推進(100%) / 要配慮者利用施設での避難確保計画作成促進や避難の実効性確保(100%) / 水害リスク情報の充実(水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等)・周知(100%) / コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進(80%) / 感染症防止対策の考慮(94%) / SNS等を活用したリスクコミュニケーションの実施(100%) など

基礎 応用 発展

柱② 情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化 【達成度：73% ※R4から4%アップ】

進捗状況(柱ごとの事例)

紀宝町
デジタル新技術活用

田辺市
河川監視カメラ、防災行政無線、SNS等

目標

- 施設整備の充実、情報伝達体制の高度化・効率化
- 受け手に分かりやすい情報の発信

⇒リスク情報への関心や認知度の向上

ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進

主な取組項目(抜粋)

ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進(100%) / 各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築(69%) / 雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討(75%) / ダム放流による水位変動見込み等の情報提供の検討(80%) / メディアとの連携による河川情報提供の検討及び実践(50%) / 鉄道事業者との連携強化(60%) / 洪水予測の周知・活用と予測技術の向上(100%) / リスク情報や治水事業効果の見える化(20%) など

基礎 応用 発展

柱③ 地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践 【達成度：91% ※R4から10%アップ】

進捗状況(柱ごとの事例)

概ね全機関
熊野川総合水防演習

目標

- 関係機関・地域との連携・協働による水防活動の強化
- 重要拠点における自衛水防の更なる推進

⇒地域の水防技術や自主防災力の向上

大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施

主な取組項目(抜粋)

消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施(100%) / 必要な水防資機材の配備(100%) / 関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続(100%) / 大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施(100%) など

基礎 応用

柱④ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進 【達成度：74% ※R4から7%アップ】

進捗状況(柱ごとの事例)

熊野市
電源開発
事前放流・情報提供等

県・国
堤防整備・河道整備

目標

- 気候変動による影響を踏まえた段階的な治水安全度の向上と浸水被害軽減
- 流域全体で協働した治水対策の推進
- ハード対策による水防活動の支援

⇒関係機関の協働による浸水被害の防止・軽減

河道掘削・低水護岸整備・堤防強化・砂防施設等整備の継続

主な取組項目(抜粋)

河道掘削・低水護岸整備・堤防強化・砂防施設等整備の継続(100%) / 市田川流域大規模浸水対策など内水対策の実施(100%) / 利水ダム事前放流や流域での雨水貯留機能の向上(90%) / 水防拠点・河川防災ステーションの整備(0%) / 水防資機材の搬入路整備(75%) / 粘り強い堤防整備(50%) など

基礎 応用 発展

柱⑤ 生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現 【達成度：83% ※R4から2%アップ】

進捗状況(柱ごとの事例)

全機関
排水施設整備・維持管理の継続、災害復旧のための連携強化

目標

- 排水施設の機能維持の強化と確実な運用の実践
- 地域全体での連携した復旧・復興の実現
- 被災者支援の実施促進

⇒被災後の生活再建、社会経済活動への早期回復

排水施設の確実かつ確かな運用に資する施設整備・維持管理

主な取組項目(抜粋)

地域防災計画の被災者支援の検証(100%)、排水施設の耐水化、点検、維持管理の継続(100%) / 排水訓練の継続・検証・改善(60%) / 被災者支援の検証(100%) / 災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化(100%) / 水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援(50%) など

基礎 応用